



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

生育は少雪により例年より早まる予想です。
 病害虫の防除は予防を意識し、早めはやめの散布を実施しましょう。
 また、2023年の栽培日誌は3月末での配布予定となっております。
 本年も防除記録の徹底・提出をお願いします。

病害虫防除

◎発芽前の薬剤散布 散布時期：3月下旬～

散布薬剤	水	90 ℓ 当り	散布日	月	日
	展着剤（ハイテンパワー）	10 ml	散布量	ℓ	
	石灰硫黄合剤	10 ℓ（発芽前、-）			
対象病害虫	（黒星病）、カイガラムシ類				
散布量	10 a 当り 300 ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				

塗布日	月	日
散布量	ℓ	

（特別防除）カイガラムシ対策

防除薬剤	アルバリン顆粒水溶剤（前日 塗布は1回、散布は3回以内）
防除方法	① 地際部から第一主枝の間の主幹を30cm程度、粗皮を削る ② 水：薬剤＝1：1（2倍）の割合で混合する ③ 粗皮を削った箇所に調合した薬液をハケで塗り付ける 目安：若木は20 ml程度、 幹の太い木（直径20cm以上）は40 ml程度

《注意事項》

- ① 石灰硫黄合剤は隣接するビニールハウスにかからないようにする。
- ② 【代替】石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル50倍でも良い。
- ③ 主幹害虫対策：ガットサイドSの1.5倍液（45日前、2回）を主幹部・主枝及び亜主枝の分岐部に塗布または散布する。

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次回：4月28日 予定
内容：5月上旬散布